

事業の実施計画と実施状況

事業計画	実施状況
<p>&lt;公益1&gt; 県民スポーツ・文化推進事業 1,059,064千円 (1,052,513千円)</p> <p>1 競技力向上 346,735千円 (347,268千円)</p> <p>(1) 競技力向上対策事業に基づき、本県の競技力の向上を図る。 233,875千円 (222,457千円)</p> <p>①目指せトップアスリート！わかとりっこ育成事業 1,592千円 (2,773千円) スポーツに触れる機会を提供することで、興味を持つ子どもを一人でも多く発掘し、その後のジュニア育成・強化により、選手育成を図る。 わかとりっこ体験会を実施</p> <p>②ジュニア育成のための競技者育成プログラム活用・実践事業 12,149千円 (12,149千円) ジュニア指導者講習会を開催することにより、県内指導者への周知を図る。また、カテゴリー別合同練習会を開催することにより、指導者の引き継ぎ・一貫性を充実させ、指導体制の強化を図る。(37競技)</p> <p>③ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業 4,400千円 (4,400千円) 特定のジュニアクラブを指定し、クラブチームの育成・活性化・大会参加等について積極的な支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行う。(19競技22クラブ)</p> <p>④運動部活動活性化事業 28,209千円 (28,074千円) ・中学生選抜選手育成・強化支援 7,471千円 (7,471千円)</p>	<p>&lt;公益1&gt; 県民スポーツ・文化推進事業 875,033,058円 (1,020,607,426円)</p> <p>1 244,767,879円 (327,197,470円)</p> <p>(1) 217,818,226円</p> <p>①963,429円 ・わかとりっこ育成体験会 期 日 令和2年11月3日(火) 場 所 鳥取県民体育館 参加者 1,287名(小学生598名、保護者568名・幼児121名) 競技等 ボート、ホッケー、体操(トランポリン)、卓球、弓道、ライフル射撃、スポーツクライミング アクティブチャイルドプログラム</p> <p>②10,084,109円 35競技(陸上、水泳、サッカー、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、トライアスロン)</p> <p>③4,398,777円 19競技22クラブ(水泳2、ボート2、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、レスリング、ハンドボール、自転車、相撲、フェンシング、ライフル射撃、ラグビーフットボール、山岳、カヌー2、空手道、ボウリング、スケート、トライアスロン)</p> <p>④24,852,520円 ・7,065,006円</p>

競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより中長期的な選手育成と強化を図る。  
※中体連全専門部に対する事業実施（20 競技）

・高等学校運動部指定合宿等支援 7,000 千円（7,050 千円）  
各高等学校における運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を目的にして各競技の運動部を指定し、強化合宿等支援を行う。  
※A指定、B指定に区分をし、配分。

・高等学校運動部指定特別指導者確保支援 5,893 千円（5,708 千円）  
指定校へ指導者配置の支援を行うことにより、競技力の向上を図る。  
※城北：相撲、敬愛：バドミントン

・高等学校運動部指定外部指導者支援 7,845 千円（7,845 千円）  
各高等学校における指定運動部の外部指導者に対する支援を行うことにより、競技力の向上を図る。

⑤県外等優秀アスリート受入支援事業 2,100 千円（1,500 千円）  
県外高校生推薦入試制度により、本県の県立高校へ入学する県外アスリートの受入体制の支援を行う。 @25 千円×12 月×7 人（ホッケー競技）

⑥特別ジュニア選手指定強化事業 36,996 千円（36,996 千円）  
各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。（25 競技）

⑦鳥取ジュニアアスリート選手育成強化事業 10,249 千円（8,944 千円）  
県直轄の鳥取ジュニアアスリート発掘事業で認定された選手に対する強化育成。特別ジュニア選手指定強化事業から抽出。（10 競技）

⑧指導者の育成事業 3,537 千円（3,537 千円）  
全国トップレベルの指導者の元に派遣、又は国内外の優秀コーチを招へ

19 競技 20 専門部（陸上、水泳、サッカー、ホッケー、バレーボール、体操、新体操、バスケットボール、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、剣道、スキー、スケート）

・6,413,444 円  
22 校 28 競技 67 部  
A指定：36 部 B指定：31 部

・5,893,000 円  
2 校 2 競技 2 名  
鳥取城北高等学校 相撲 レンツェンドルジ・ガントウクス  
鳥取敬愛高等学校 バドミントン 日野由希江

・5,481,070 円  
外部指導者支援 13 校 28 名

⑤1,350,000 円  
県外推薦入試により、八頭高校（ホッケー部）に 5 名受入

⑥40,011,266 円  
28 競技（陸上、水泳、テニス、ボート、ボクシング、バレーボール、体操、レスリング、セーリング、ウェイトリフティング、自転車、卓球、相撲、馬術、フェンシング、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、ボウリング、スキー、スケート、トライアスロン）

⑦9,064,307 円  
10 競技（ボート、ホッケー、レスリング、セーリング、自転車、ライフル射撃、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、）

⑧2,327,513 円  
19 競技（陸上、水泳、サッカー、ホッケー、ボクシング、バレーボール、レスリ

い訪問等行い、県内の指導者の指導力向上を図る。(24 競技)

⑨大学運動部指定強化事業 550 千円 (550 千円)

協定により大学運動部を指定し、強化事業を実施する。

※A～Dの4区分に分け、国体強化につながる部の支援を優先する。

⑩社会人等選手指定強化事業 25,012 千円 (25,012 千円)

各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。(25 競技)

⑪国体成年団体競技強化チーム事業 1,519 千円 (1,519 千円)

県内において高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に対して補助を行う。

※チアフル鳥取 (バドミントン)・米子クラブ (アイスホッケー) へのチーム支援。

⑫優秀選手確保事業 2,000 千円 (3,000 千円)

成年期の競技力向上のために、県外の優秀選手を雇用する県内企業等に補助をする。@1,000 千円×2名

⑬特別指定競技国体強化事業 16,044 千円 (16,044 千円)

競技を指定して、県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することにより、国体等での成績向上を図る。

⑭医・科学サポート事業 5,192 千円 (4,192 千円)

スポーツ医科学講習会等事業

医事・栄養・ドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会の開催や、栄養知識及び普及に関する講習会の開催のほか、筋力トレーニング等の充実・県内外スポーツ診療関連施設への選手派遣を行い、マルチサポート体制の充実を図る。

※栄養サポート講習会、メンタルサポート・指導者クリニック、県内

ング、自転車、ソフトテニス、相撲、馬術、ソフトボール、バドミントン、弓道、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、スキー、)

⑨150,000 円

1 校 1 部

米子工業高等専門学校 (ヨット)

⑩25,674,670 円

28 競技 (陸上、水泳、ボート、ボクシング、体操、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、相撲、馬術、フェンシング、柔道、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレ射撃、ボウリング、スキー、スケート、アイスホッケー、トライアスロン)

⑪1,519,000 円

2 競技 2 クラブ

バドミントン (チアフル鳥取)

アイスホッケー (米子アイスホッケークラブ)

⑫2,500,000 円

2 名 (バドミントン)

⑬13,966,905 円

7 競技 (サッカー、ホッケー、体操、バスケットボール、ソフトテニス、ソフトボール、ラグビーフットボール)

⑭3,577,667 円

26 競技 (陸上、水泳、サッカー、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、ソフトテニス、相撲、馬術、ソフトボール、バドミントン、弓道、ラグビーフットボール、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、スキー、トライアスロン)

・トレーナー養成講習会

施設でのスポーツ版人間ドックの受診等

第1回 令和2年11月23日(月) 倉吉体育文化会館 25名参加  
第2回 令和2年12月6日(日) 倉吉体育文化会館 35名参加  
第3回 令和3年1月10日(日) 倉吉体育文化会館 27名参加  
第4回 令和3年2月28日(日) 倉吉体育文化会館 28名参加

・チームドクター派遣(24回)

・指導者クリニック(講師:瀬古利彦氏)

令和3年1月16日(土) 倉吉体育文化会館 → 中止

・栄養講習会

令和3年2月5日(金) 鳥取中央育英高校 42名参加

(陸上、水球、レスリング、野球)

令和3年2月6日(土) 倉吉体育文化会館 41名参加(クライミング)

令和3年2月23日(火) 倉吉体育文化会館 26名参加(ソフトボール)

・鳥取県スポーツ版人間ドックの受診(会場:YMC A米子医療福祉専門学校)

第1回 令和2年9月13日(日) ボート 10名受診

第2回 令和2年10月3日(日) バドミントン 7名受診

第3回 令和3年2月23日(火) 陸上・レスリング 6名受診

第4回 令和3年2月27日(土) ボート 7名受診

第5回 令和2年3月13日(土) バドミントン → 中止

⑮強化練習用消耗品等対策事業 17,294千円(17,301千円)

国民体育大会に参加する上で、消耗品・使用料・作曲料・運搬料等において、その特殊性を考慮し補助を行う。

⑯安全管理対策事業 1,591千円(1,591千円)

国体候補選手のスポーツ安全保険への加入を補助することにより、強化事業に専念できる体制を整える。

⑰国体等強化備品整備 46,000千円(35,745千円)

国体等強化備品の整備を行う。

※【陸上】やり練習用(男女)、【水泳】水球ゴール一式・水球専用フィールドロープ一式、【ボート】シングルスカル・ダブルスカル・ワットバイクプロ、【ホッケー】スポーツタイマー、【バ

⑮16,549,192円

12 競技(水泳、ボート、体操、セーリング、自転車、馬術、山岳・スポーツクライミング、カヌー、クレール射撃、スキー、スケート、アイスホッケー)

⑯960,152円

31 競技(陸上、水泳、ボート、ホッケー、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、自転車、ソフトテニス、卓球、相撲、馬術、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、なぎなた、ボウリング、スケート、アイスホッケー、トライアスロン)

⑰39,037,234円

15 競技

【陸上】やり練習用(男女)、【水泳】水球ゴール一式・水球専用フィールドロープ一式、【ボート】シングルスカル・ダブルスカル・ワットバイクプロ、【ホッケー】スポーツタイマー、【バレーボール】支柱、【体操】段違い平行棒・映像

レーボール】支柱、【体操】段違い平行棒・映像遅延装置一式、【ウエイトリフティング】競技用バー（男女）、【自転車】バトンホイールフロント・ディスクホイールリヤ・ロードホイール・トラックレーサー（長・短距離）完成車・ワットバイクプロ・ロードレーサー完成車、【相撲】土俵、【馬術】鞍、【フェンシング】電気審判器セット、【バドミントン】サービス高測定器・得点板・シャトルノックマシン、【ライフル射撃】ビームライフル銃、【カヌー】スラロームK-1艇・スプリント（K-2艇・C-2艇）、【ソフトボール】簡易式内野フェンス一式・外野フェンス・二輪式ソフトストレーマシン、【山岳・スポーツクライミング】ホールド・グリーンシート

⑱公認指導者資格取得・更新補助事業 97千円（97千円）

国民体育大会の監督資格要件として必要な日本スポーツ協会公認指導者資格の取得及び更新に係る経費の1/2補助を実施する。

⑲強化推進事業 17,944千円（17,517千円）

- ・強化推進事業費（事務費） 1,080千円（1,080千円）  
競技団体との連絡・調整・指導等
- ・競技力向上担当人件費 16,864千円（16,437千円）  
競技力向上対策事業を受託執行するための3名の人件費

⑳わかとり国体開催記念スポーツ振興事業 1,400千円（1,516千円）

【募集関係】

ア 情報収集活動事業

国体で入賞が期待される競技の指導者等を各種大会等へ派遣し、全国の競技力等の調査・分析を行うための経費を助成する。

イ 強化用消耗品・備品等整備事業

県の競技力向上対策事業費で措置されていない消耗品及び備品購入のための経費を競技団体に助成する。

【激励関係】

ウ オリンピック等出場選手激励事業

本県選手・本県出場選手に対し、激励金を交付する。

遅延装置一式、【自転車】バトンホイールフロント・ディスクホイールリヤ・ロードホイール・トラックレーサー（中長短距離）完成車・ワットバイクプロ・ロードレーサー完成車、【相撲】土俵、【馬術】鞍、【フェンシング】電気審判器セット、【バドミントン】サービス高測定器・得点板・シャトルノックマシン、【ライフル射撃】ビームライフル銃、【カヌー】スラロームK-1艇・スプリント（K-2艇・C-2艇）、【ソフトボール】二輪式ソフトストレーマシン、【山岳・スポーツクライミング】グリーンシート

⑱52,100円

4競技7人（自転車1、相撲2、カヌー3、スケート1）

⑲20,540,846円

- ・各種委員会の開催、競技団体との意見交換会等に係る経費、その他事務費  
1,400,315円
- ・3名配置 19,140,531円

⑳238,539円

ア 2競技3事業。

（自転車2、バドミントン1）

イ 実施なし

ウ 東京オリンピック延期のため、未交付。

エ 国民体育大会入賞奨励金支給事業

国民体育大会において入賞した競技(種別)に対し報奨金を支給する。

【その他】

オ 強化推進費

鳥取県スポーツ協会が競技力向上を推進していくために必要となる経費を助成する。

(2) 国体予選会の開催及び国体等の選手団派遣を行う。

88,686千円(99,516千円)

①国体予選会の開催 2,764千円(2,716千円)

国体選手選考のための県予選会の開催を競技団体へ委託する。

②中国ブロック大会及び全国予選会への選手団派遣

18,699千円(32,031千円)

主に鳥取県で開催される国民体育大会中国ブロック大会及び西日本(予選)で開催予定の全国予選会へ選手団を派遣する。

期 日 令和2年5月～12月

会 場 鳥取県内の各会場等

競技種目 水泳(水球)他32競技

③第75回本国体及び第76回冬季大会への選手団派遣

65,936千円(63,482千円)

・鹿児島県で開催される第75回国民体育大会(会期前・本大会)に選手団を派遣する。

(本大会及び会期前)

期 日 令和2年10月3日(土)～10月13日(火)

※会期前実施競技は令和年9月12日(土)～9月20日(日)

競技種目 陸上競技他36競技

エ 鹿児島国体延期、スキー国体中止。スケート国体のみ開催。該当者なし

オ 競技団体への激励品等の支給。

(2) 4,057,200円

①1,235,756円

国体選手選考のための県予選会を競技団体へ委託 7競技

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、一部中止

②958,375円

・本大会 31競技

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、中止

会 場 鳥取県内の各会場等

競技種目 水泳(水球)他31競技

・冬季 令和2年12月12日(土)～12月13日(日)1競技

会 場 湖遊館(鳥根県)

競技種目 アイスホッケー

・フィギュアスケート競技全国予選会

期 日 令和2年12月5日(土)～12月6日(日)1競技

会 場 尼崎スポーツの森(兵庫県)

③1,198,238円

第75回国民体育大会(会期前・本大会)(鹿児島県)に選手団を派遣。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、2023年に延期

(会期前大会)

期 日 令和2年9月12日(土)～9月20日(日)

競技種目 水泳、ボート、バレーボール、体操

(本国体)

期 日 令和2年10月3日(土)～10月13日(火)

競技種目 陸上競技 他33競技

・第76回冬季大会に選手団を派遣する  
(スケート・アイスホッケー競技)  
期 日 令和3年1月27日(水)～1月31日(日)  
場 所 愛知県・岐阜県  
(スキー競技)  
期 日 令和3年2月18日(木)～2月21日(日)  
場 所 秋田県鹿角市

④国体等派遣選手指導費 1,287千円(1,287千円)  
県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行う。

(3) 競技力向上のための指導者確保事業 12,097千円(12,425千円)  
鳥取県の競技力向上のため、優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図る。  
※ホッケー競技・セーリング競技

(4) JOC競技別強化拠点(セーリング・クライミング)整備等事業  
・コーチングスタッフの確保 10,787千円(11,560千円)  
JOC競技別強化センターとして認定を受けた境港公共マリーナ及び倉吉体育文化会館における競技力向上のための機能や利便性の向上を図るために必要な整備を行う。

(5) アンチ・ドーピング教育・啓発事業(日ス協委託事業)  
200千円(200千円)  
・指導者、選手を対象とした講習会を開催する。  
・アンチ・ドーピングに関する啓発を行う。

(6) 賛助会費事業 1,090千円(1,110千円)  
①大学生トップアスリート支援事業 600千円(600千円)  
大学に進学したトップアスリートに競技を継続してもらうため、支援を行う。

・第76回冬季大会へ選手団を派遣。  
(冬季大会 スケート・アイスホッケー競技)  
期 日 令和3年1月27日(水)～1月31日(日)  
場 所 スケート競技(愛知県名古屋市、岐阜県恵那市)  
アイスホッケー競技(愛知県豊橋市、長久手市)  
競技種目 スケート 1競技8名派遣、アイスホッケー競技 派遣なし  
(冬季大会 スキー競技)  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、中止  
期 日 令和3年2月18日(木)～2月21日(日)  
競技種目 スキー競技

④664,831円  
県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行った。

(3) 11,667,917円  
体育指導員2名配置 (ホッケー、セーリング)

(4) 10,497,956円  
体育指導員(セーリング、クライミング)2名配置

(5) 0円  
ドーピング講習会  
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、中止

(6) 726,580円  
①0円  
鹿児島国体延期、スキー国体中止。スケート国体のみ開催。該当者なし

②ジュニア期の一貫指導・育成支援事業 400 千円 (400 千円)  
全国での入賞実績のない高校運動部・ジュニアクラブチームを指定し、全国レベル到達を目的に支援を行う。

③総合型地域スポーツクラブ育成支援事業 30 千円 (50 千円)  
総合型地域スポーツクラブが指導者を招聘して教室開催等を行うことにより、会員確保やクラブ活性化を図る。

④賛助会員体育施設利用券の発行 30 千円 (30 千円)  
鳥取県スポーツ協会が管理する指定管理及び所有する施設の利用券を交付する。

⑤賛助会運営費 30 千円 (30 千円)  
鳥取県スポーツ協会が賛助会を運営していくために必要となる経費。

②700,000 円  
・高校運動部 16 校 20 部  
380,000 円  
・ジュニアクラブチーム 2 クラブ (体操 (トランポリン)、銃剣道)  
320,000 円

③20,000 円  
・事業実施クラブ及び実施内容  
○ほうきスマイリースポーツクラブ  
→ウォーキング教室  
○山陰リンクの会  
→ジュニアバドミントン教室

④750 円  
発行枚数：310 枚 (個人38枚、団体272枚)  
利用枚数：3 枚 (布勢総合運動公園1枚、鳥取産業体育館2枚)

⑤5,830 円  
振込に係る諸経費等。



2 生涯スポーツ推進 54,233千円(50,575千円)

(1) 広域スポーツセンター事業 26,312千円(26,876千円)

①総合型地域スポーツクラブ運営改善事業 320千円(320千円)

総合型地域スポーツクラブが抱える問題を解消するため、クラブ創設・運営に関する指導者を派遣し、運営改善を図る。

②クラブアドバイザー配置事業 5,584千円(5,492千円)

クラブ設立・運営支援等を行うためクラブアドバイザー(1名)を配置する。

③クラブマネジャー研修事業 120千円(120千円)

総合型地域スポーツクラブのマネージメントに必要な基礎知識を有する人材を養成するため、総合型地域スポーツクラブ、市町村教育委員会、スポーツ推進委員を対象とした資格取得のための研修会を行う。

④県民まるごとスポーツ推進事業 2,194千円(762千円)

・親子deスポーツ推進事業 977千円(762千円)

子育て世代を中心として、親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識高揚とスポーツ振興を図ることを目的とし、総合型地域スポーツクラブが親子向け運動教室等を実施すること

2 31,897,813円(44,614,341円)

(1) 19,141,047円

①118,153円

・研修会

日時 令和2年11月29日(日)

場所 倉吉体育文化会館小研修室1

講師 松田 雅彦氏(大阪教育大学附属高校平野校舎 教諭)

内容 総合型地域スポーツクラブの課題を考える講演とワークショップ

・指導者派遣

対象 スポねっとちづ

日時 令和3年2月21日(日)

場所 智頭町総合センター

講師 松田 雅彦氏(大阪教育大学附属高校平野校舎 教諭)

内容 クラブ役員ヒアリング、会員等との意見交換、クラブ指導

※リモート実施

②4,641,333円

1名配置

③153,026円

研修会

日時 令和2年7月11日(土)、12日(日)

場所 倉吉体育文化会館

講師 渡辺 泰弘氏(広島経済大学准教授)

内容 ・クラブマネジャーの役割、クラブの運営

・総合型地域スポーツクラブとは、クラブの現状、クラブの作り方

受講者 14名

④2,043,698円

○実施クラブ(実施内容)

【親子deスポーツ】1,185,908円

・青谷スポーツクラブ(トランポ・ロビックス)

・地域スポーツ推進協会(トランポリン)

を支援する。

・(新) みんな de ユニスポ推進事業 1,217千円(0千円)

年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、すべての人が気軽にスポーツを楽しむ機会を提供することを目的とし、総合型地域スポーツクラブが幅広い層を対象としたスポーツ機会を提供することに対して支援する。

⑤鳥取県スポーツ情報サイト運用・保守料等事業 785千円(776千円)

県内スポーツ施設、スポーツイベント、鳥取へのアクセスマップ及び宿泊施設等の情報に加え、各種支援制度をまとめた専用サイトを運用する。

⑥第21回県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業

7,791千円(7,911千円)

広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を供することにより、県民一人一人に参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。

・夏季大会 5種目

期 日 令和2年8月29日～30日

会 場 中部地区中心に全県で開催

・秋季大会 34種目

期 日 令和2年10月24日～25日

会 場 中部地区中心に全県で開催

・冬季大会 5種目

期 日 令和3年2月14日

会 場 中部地区中心に全県で開催

⑦大韓民国江原道とのスポーツ交流事業 3,500千円(5,500千円)

本県スポーツ協会と江原道体育会との協定(2001年11月6日協定)に基づき、両県道のスポーツ交流を行い、競技力の向上と友好親善を図る。令和2年度は鳥取県が江原道を訪問。

【スポーツ交流大会 3競技】

・バレーボール(少年男女)・柔道(少年男女)

・かほくスポーツクラブ(クライミング、高原サイクリング、親子スキー等)

・あいだクラブ(野球教室)

・ウルトラスポーツクラブ(サッカー教室、トランポ・ロビクス)

・ほうきスマイリースポーツクラブ(親子ヨガ、カヌー体験等)

・スポーツしよい大山(親子でバドミントン教室)

・山陰リンクの会(ニューススポーツ(モルック))

【みんな de ユニスポ】857,790円

・ウルトラスポーツクラブ(エアロ&ヨガ、フットサル教室)

・琴の浦クラブ(各種ニューススポーツ体験)

⑤784,520円

スポーツ施設、スポーツイベント、宿泊施設等の情報を掲載。

⑥6,218,549円

○夏季大会 5種目

新型コロナウイルス感染防止のため全種目中止

○秋季大会 34種目

期 日 令和2年10月24日～25日

会 場 中部地区を中心に開催

※新型コロナウイルス感染防止のため剣道ほか11種目が中止

参加人数 4,387名(前年度8,317名)

○冬季大会 5種目(1種目中止)

期 日 令和3年2月13日

会 場 氷ノ山スキー場 他4会場

参加人数 337名(前年度527名)

⑦0円

新型コロナウイルス感染拡大による事情により開催中止(来年度に延期)

・バドミントン（成年男女）

期 日 令和2年12月（予定）

参加者 3競技の監督、選手、体協役員等

⑧広域スポーツセンター人件費 6,018千円（5,995千円）

広域スポーツセンターの事業を受託執行するための1名分の人件費。

(2) 体協表彰事業 1,500千円（2,000千円）

スポーツ振興を図るため、表彰規程に基づき本県スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績を挙げた選手について、選考委員会の審議により表彰者を決定し、表彰する。

期 日 令和3年2月27日（土）

場 所 白兔会館

【表彰内訳】

体育功労章	若干名
優良団体賞	数団体
優秀指導者賞	若干名
特別賞	国際大会出場者等
スポーツ賞	全国大会等上位入賞
スポーツ敢闘賞	全国大会等下位入賞
スポーツ奨励賞	全国規模大会入賞者

(3) 公認コーチ養成事業 2,076千円（1,592千円）

①公認コーチ養成講習会の開催（日本スポーツ協会委託事業）1,606千円（1,106千円）

・コーチ1養成講習会 3競技（バレーボール、ボウリング、弓道）

②公認コーチ育成事業（日本スポーツ協会委託事業）470千円（486千円）

・スポーツ指導者研修会の開催 年2回  
・指導者育成関係事業事務費

⑧5,181,768円

1名配置

(2) 673,545円

令和3年2月27日（土）に表彰式を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から集合型の表彰式は中止

表彰者名簿、表彰状、記念メダル等を作成し、学校等を通じて伝達した。

体育功労章と優良団体賞については、3月9日に開催した理事会に先立ち、会長が表彰を行った。

【表彰者数】

体育功労章	8名
優良団体賞	2団体
優秀指導者賞	8名
スポーツ賞	個人21名 団体8名（2チーム）
スポーツ敢闘賞	個人27名 団体30名（2チーム）

(3) 66,801円

①0円

・公認バレーボールコーチ1養成講習会  
新型コロナウイルス感染拡大による事情により開催中止  
・公認ボウリングコーチ1養成講習会  
新型コロナウイルス感染拡大による事情により開催中止  
・公認弓道コーチ1養成講習会  
新型コロナウイルス感染拡大による事情により開催中止

②66,801円

・第1回及び第2回  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

(4) スポーツ少年団の育成（日本スポーツ協会助成事業等）4,801千円  
(5,344千円)

①県競技別交流大会開催事業 553千円(612千円)

各地区を代表するスポーツ少年団による県交流大会の開催

・軟式野球交流大会

期 日 令和2年6月27日(土)、28日(日)

会 場 米子市 淀江球場

・ミニバスケットボール交流大会

期 日 令和2年9月6日(日)

会 場 コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク(県民  
体育館)

・剣道交流大会

期 日 令和2年10月18日(日)

会 場 鳥取市武道館

・バレーボール交流大会

期 日 令和2年12月20日(日)

会 場 三朝町総合スポーツセンター

②中国ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会開催事業 670千円  
(790千円)

各県のスポーツ少年団による競技別交流大会の開催

期 日 令和2年7月25日(土)～26日(日)

会 場 米子市民球場、淀江球場

③中国大会派遣事業 289千円(215千円)

各県で開催される中国ブロック競技別交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。(バドミントン(山口県)、男子バレーボール(島根県)、ソフトボール(広島県)、スポーツ少年大会・リーダー研究大会(岡山県))

④全国大会派遣事業 424千円(406千円)

全国で開催されるスポーツ少年団交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。(48名)

(4) 2,453,824円

①328,695円

・軟式野球交流大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

・ミニバスケットボール交流大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

・剣道交流大会

期 日：令和2年10月18日(日)

会 場：鳥取市武道館

参加単位団：8単位団(東部1団・中部4団・西部・3団)

参加者数：79名

・バレーボール交流大会

期 日：令和2年12月20日(日)

会 場：(男子)三朝町農林漁業者トレーニングセンター  
(女子)三朝町総合スポーツセンター

参加単位団：男女12団(東部4・中部4・西部4)

参加者数：133名

②0円

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

③0円

・バドミントン(山口県)

・男子バレーボール(島根県)

・ソフトボール(広島県)

・スポーツ少年大会、リーダー研究大会(岡山県)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため各交流大会の開催中止

④0円

・第43回全国スポーツ少年団剣道交流大会(福島県)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

⑤中央講習会派遣事業 16 千円 (12 千円)

認定育成員資格からスタートコーチ (スポーツ少年団) インストラクター資格へ移行する研修会及び新規インストラクター養成のための研修会等へ派遣。

- ・インストラクター (スポーツ少年団) 移行研修会
- ・インストラクター (スポーツ少年団) 養成講習会

⑥スタートコーチ (スポーツ少年団) 養成講習会の開催 250 千円 (366 千円)

単位団運営において最低2名以上必要な、スタートコーチ (スポーツ少年団) 資格を取得できる講習会の開催

期 日：令和2年11月22日(日)

会 場：鳥取県立倉吉体育文化会館

⑦ジュニア・リーダースクール開催事業 129 千円 (124 千円)

日本スポーツ少年団リーダー制度におけるジュニア・リーダー資格を取得できる講習会の開催

期 日：令和2年10月24日(土)～25日(日)

会 場：鳥取県立船上山少年自然の家

⑧地区別交流大会開催事業 421 千円 (451 千円)

本県東・中・西部地区の市町村で開催される交流大会費用を助成。

⑨地区別指導者研修費 151 千円 (294 千円)

本県東・中・西部地区の市町村で開催される指導者研修費用を助成。

⑩スポーツ少年団本部運営事業 1,898 千円 (2,074 千円)

- ・第18回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会 (宮城県)  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

⑤0 円

- ・スタートコーチ (スポーツ少年団) インストラクター移行研修会 (全国7会場で開催)  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
- ・スタートコーチ (スポーツ少年団) インストラクター養成講習会 (大阪府)  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

⑥0 円

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

⑦0 円

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

⑧334,226 円

- ・各地区140千円を助成。

⑨142,546 円

- ・各地区50千円を助成。

⑩1,648,357 円

- ・委員総会  
第1回委員総会 書面報告  
第2回委員総会 令和3年3月26日(金)
- ・令和2年度スポーツ少年団登録数

(5) (新) ACP を活用した運動遊び促進事業 1,264 千円(0 円)

ACP を活用し、運動遊びを促進することにより日常的にスポーツを行う場を持たない子ども達が、身体を動かすことの楽しさを体験する機会を提供する。

指導者登録数：495 名 (716 名)

団員登録数：2,850 名 (2,980 名)

市区町村役職員登録数：52 名 (63 名)

都道府県役職員登録数：5 名 (4 名)

(5) 980,084 円

- ・実施団体：北栄スポーツクラブ  
実施内容：ランニング教室  
期 日：令和 2 年 9 月 20 日 (日)  
参加者数：25 名
- ・実施団体：北栄スポーツクラブ  
実施内容：なかよし学級運動教室  
期 日：令和 2 年 10 月 3 日 (土)  
参加者数：25 名
- ・実施団体：北栄スポーツクラブ  
実施内容：運動教室  
期 日：令和 2 年 10 月 15 日 (木)  
参加者数：17 名
- ・実施団体：北栄スポーツクラブ  
実施内容：マラソン大会向けランニング教室  
期 日：令和 2 年 10 月 18 日 (日)  
参加者数：47 名
- ・実施団体：スポ net なんぶ  
実施内容：親子サッカー教室  
期 日：令和 2 年 10 月 25 日 (日)  
参加者数：15 名
- ・実施団体：公益財団法人鳥取県スポーツ協会  
実施内容：わかとりっこ育成体験会の参加者へ向けた ACP を活用した運動遊び  
期 日：令和 2 年 11 月 3 日 (火・祝)  
参加者数：89 名
- ・実施団体：北栄スポーツクラブ  
実施内容：運動教室  
期 日：令和 2 年 11 月 4 日 (水)  
参加者数：18 名

(6) スポーツ安全保険業務 4,828千円(4,634千円)  
公益財団法人スポーツ安全協会と業務及び経費について協定を交わし、スポーツ安全保険業務を行う。

(7) 施設基金実施事業 12,352千円(10,129千円)

①ガイナレ鳥取支援事業 51千円(101千円)

ガイナレ鳥取に対し、県ス協としても可能な支援を行い、本県スポーツの充実を図るとともに地域活性化に寄与する。

②鳥取県体育協会創立100年記念事業 3,000千円(4,058千円)

鳥取県体育協会体育協会史事業

鳥取県体育協会の歴史を後世に残していくため、鳥取県体育協会史の発行を行う。

③備品整備事業 300千円(283千円)

県民スポーツ・文化推進事業を円滑に行えるよう、備品の整備を行う。  
・公用車(軽自動車)の維持・修繕等

④2020東京オリパラ・世界選手合宿誘致事業 9,001千円(4,501千円)

東京オリ・パラキャンプ誘致に係る開催市町村への負担

(8) (新) スポーツ展示スペース整備事業 1,100千円(0円)

本県出身選手や本県ゆかりの選手等に関する展示物を展示することで県民のスポーツへの興味・関心を高める目的で管理施設(布勢総合運動公園他)のスポーツ展示スペースの整備を行う。

(6) 4,426,000円

協定期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日

加入団体数: 1,329団体

加入者数: 40,386人

掛金合計: 57,160,150円

(7) 3,001,691円

①50,110円

クラブスポンサーとして支援

②2,693,271円

鳥取県体育協会史Ⅱを刊行

発刊日: 令和2年10月1日

部数: 800部

スポーツ協会ホームページにPDF版を公開するとともに、県内公立図書館、小・中学校、高校、大学、スポーツ協会加盟団体、関係者等に配布

③258,310円

公用車のリース料及び法定点検等整備

④0円

オリンピック延期による未実施

(8) 1,154,821円

・とっとりスポーツスクエアの展示

期日: 令和2年10月18日(日)～令和3年3月31日(水)

会場: 常時展示場所 鳥取県民体育館

巡回展示場所 鳥取県立倉吉体育文化会館

展示内容: ①「世界に輝く!鳥取県アスリート」

②連続企画「鳥取の体育・スポーツのあげぼの」

第1回「日本体操を築いた三橋喜久雄・義雄兄弟」

指定管理施設 運営状況一覧

令和3年3月31日現在

	公益事業 + 収益事業					収益事業	合計
	鳥取県立 布勢総合運動公園	鳥取県立 鳥取産業体育館 鳥取県営 鳥取屋内プール	米子市 皆生市民プール	鳥取県立 米子産業体育館	鳥取県立武道館	鳥取県立 倉吉体育文化会館	
利用人数	943,200人	77,700人 67,000人	87,000人	141,000人	108,000人	162,755人	1,586,655人
(計画)	(1,122,000人)	(77,500人) (67,000人)	(87,000人)	(140,000人)	(117,000人)	(172,000人)	(1,782,500人)
利用人数	638,134人	54,262人 31,476人	74,421人	74,731人	58,348人	56,262人	987,634人
(実績)	(941,960人)	(78,998人) (67,686人)	(91,328人)	(97,666人)	(106,265人)	(143,364人)	(1,527,267人)
利用収入等金額	60,770,000円	32,664,000円	24,175,000円	31,300,000円	12,910,000円	19,053,000円	180,872,000円
(計画)	(65,690,000円)	(32,484,000円)	(23,755,000円)	(30,900,000円)	(12,850,000円)	(20,137,000円)	(185,816,000円)
利用収入等金額	42,076,952円	16,159,975円	18,427,387円	15,844,616円	9,017,578円	12,129,683円	113,656,191円
(実績)	(70,468,485円)	(30,161,414円)	(19,240,579円)	(26,851,587円)	(13,902,426円)	(21,192,671円)	(181,817,162円)
県委託料	287,980,000円	66,227,000円	—	33,080,000円	67,537,000円	58,060,000円	512,884,000円
(予算)	(285,360,000円)	(65,624,000円)	—	(32,780,000円)	(66,860,000円)	(50,180,000円)	(500,804,000円)
県委託料	287,986,732円	66,555,401円	—	33,082,823円	67,542,000円	54,903,083円	510,070,039円
(実績)	(286,543,458円)	(66,323,324円)	—	(35,516,474円)	(66,862,297円)	(52,358,732円)	(507,604,285円)
米子市委託料	—	—	45,959,000円	—	—	—	45,959,000円
(予算)	—	—	(45,772,000円)	—	—	—	(45,772,000円)
米子市委託料	—	—	45,959,000円	—	—	—	45,959,000円
(実績)	—	—	(45,772,000円)	—	—	—	(45,772,000円)
スポーツ(文化)教室	【スポーツ教室】 卓球初級教室 他30教室	【体育館】 バドミントン教室 他13教室 【プール】 小学生教室他7教室	【スポーツ教室】 バドミントン初級教室 他9教室 【水泳教室】 3教室(22クラス)	【スポーツ教室】 体操教室他13教室 【短期教室】 バドミントン教室他 3教室	柔道教室 剣道教室 弓道教室 相撲教室 ゆったり運動教室 他8教室	【スポーツ教室】 クライミング教室他17 教室 【文化教室】 英会話教室他6教室	
イベント	【スポーツ】 布勢サッカー大会他5種 【いきいき健康長寿】 園長杯争奪GG大会他3種 【体験学習】 カブトムシ採集ウォーク他2種 【交流】 布勢子ども祭(秋)	・プールでカヌー体験 教室 ・ローズンカップ小学 生卓球大会 ・花ショウブ展示会	【スポーツ】 ・館長杯ジュニアバドミント ン大会 【地域貢献】 ・浮いて待て講習会 他1イ ベント	※コロナウイルス感染 症対策によりイベント なし	・小学生柔道大会 他3イベント	【スポーツイベント】 クライミング体験会他3 イベント 【文化教室】 夏休み文化教室他2イベ ント	
備考		・音響更新工事 11/1~12/28 ・プール改修工事 10/1~1/31				・体育館特定天井工事 10/5~3/25	

※カッコ内はR1年度



事業計画	実施状況																				
<p>3 体育施設管理・運営 658,096 千円 (654,670 千円) 鳥取県及び米子市から指定管理者に指名された体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。</p> <p>(1) 布勢総合運動公園 345,517 千円 (347,176 千円)</p> <table border="0" data-bbox="174 422 952 582"> <tr> <td>令和2年度施設利用見込人数</td> <td>943,200人</td> </tr> <tr> <td>(令和元年度利用見込人数)</td> <td>(1,122,000人)</td> </tr> <tr> <td>令和2年度収入見込額</td> <td>60,770,000円</td> </tr> <tr> <td>(令和元年度収入見込額)</td> <td>(65,690,000円)</td> </tr> </table>	令和2年度施設利用見込人数	943,200人	(令和元年度利用見込人数)	(1,122,000人)	令和2年度収入見込額	60,770,000円	(令和元年度収入見込額)	(65,690,000円)	<p>3 598,367,366 円 (648,795,615 円)</p> <p>(1) 布勢総合運動公園 324,259,758 円</p> <p>①利用人数および収入増減理由</p> <p>ア 利用人数</p> <table border="0" data-bbox="1198 462 1825 582"> <tr> <td>令和2年度施設利用者数</td> <td>638,134人</td> </tr> <tr> <td>(令和元年度実績)</td> <td>(941,960人)</td> </tr> <tr> <td>増 減</td> <td>△303,826人</td> </tr> </table> <p>【増減要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響により、利用予約のキャンセル及び大会やイベント等の中止が発生。4月13日から5月15日まで有料施設の利用を停止。有料施設利用再開後もトレーニングルームは利用人数の制限などにより減少。</li> </ul> <p>イ 収入 (自動販売機収入含む)</p> <table border="0" data-bbox="1198 853 1915 973"> <tr> <td>令和2年度収入額</td> <td>42,076,952円</td> </tr> <tr> <td>(令和元年度実績)</td> <td>(70,468,485円)</td> </tr> <tr> <td>増 減</td> <td>△28,391,533円</td> </tr> </table> <p>【増減要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用人数と同様の理由で収入も大幅に減少。</li> </ul> <p>②事業実施状況</p> <p>ア 施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種掲示等による注意喚起、小まめな換気、サーマルカメラの設置や1日2回の消毒作業など新型コロナウイルス感染予防対策を徹底して実施した。</li> <li>・トレーニングルームでの感染拡大防止のため、人数制限及び利用を全3ブロック(午前、午後、夕方)に分割し、その合間に消毒作業及び換気の徹底を行った。(引続き継続)</li> <li>・新型コロナウイルス感染予防対策協賛店に登録した。</li> </ul>	令和2年度施設利用者数	638,134人	(令和元年度実績)	(941,960人)	増 減	△303,826人	令和2年度収入額	42,076,952円	(令和元年度実績)	(70,468,485円)	増 減	△28,391,533円
令和2年度施設利用見込人数	943,200人																				
(令和元年度利用見込人数)	(1,122,000人)																				
令和2年度収入見込額	60,770,000円																				
(令和元年度収入見込額)	(65,690,000円)																				
令和2年度施設利用者数	638,134人																				
(令和元年度実績)	(941,960人)																				
増 減	△303,826人																				
令和2年度収入額	42,076,952円																				
(令和元年度実績)	(70,468,485円)																				
増 減	△28,391,533円																				

- ・利用者の利便性の向上を図るため県民体育館に授乳室を設置した。
- ・カード決済、電子マネー決済を導入し、積極的に広報するなど利用者の利便性向上に努めた。
- ・コロナ禍で収入減により経費圧迫する中ではあったが、できる限りの修繕業務を行った。

件数：68件 合計金額：10,254,022円

#### イ 教室およびイベント実施

##### (ア) スポーツ教室

延べ実施回数630回(1,156回)

延べ参加人数8,138人(21,371人)

##### ※実施状況

##### テニス教室以外

第1期：12教室(23教室中止)

第2期：29教室

短期：7教室

##### テニス教室

第1期：中止

第2期：中止

第3期：2教室

第4期：2教室

##### (イ) イベント

実施回数18回(令和元年度38回)

参加人数2,698人(令和元年度20,358人)

#### ③課題および取組み

- ・コロナ禍で今後も収入確保が見通せないこともあり、修繕については職員でできるものについては対応し経費削減に努め、また日々の巡視等で施設点検を徹底し、大きな修繕にならないように努める。
- ・ネーミングライツ変更に伴い、令和3年4月1日付で「ヤマタスポーツパーク」へ愛称が変更。ホームページ、パンフレット等で利用者への浸透を図っていく。また、大会等のプログラム、要項等に新規愛称を使用してもらうよう関係団体に依頼していく。

(2) 鳥取産業体育館・鳥取屋内プール 98,631千円 (97,126千円)

令和2年度施設利用見込人数	体育館	77,700人
	プール	67,000人
	計	144,700人
(令和元年度施設利用見込人数)	体育館	77,500人
	プール	67,000人
	計	144,500人

令和2年度収入見込額 32,664千円  
(令和元年度収入見込額) (32,484千円)

(2) 鳥取産業体育館・鳥取屋内プール 83,047,911円

①利用者数及び収入増減理由

ア 利用人数

令和2年度施設利用者数	85,738人	(体育館 54,262人)
		(プール 31,476人)
(令和元年度実績)	146,684人	(体育館 78,998人)
		(プール 67,686人)

増 減  $\Delta 60,946$ 人

【増減理由】

- 下記の要因により、令和2年度は大幅な減少となった。
- ・4/13～5/15 コロナウイルス感染症拡大予防に伴う施設が休館。
  - ・中学生以下を対象とした教室、イベントをコロナウイルス感染症拡大予防に伴い中止。
  - ・主催者側のコロナウイルス感染症予防対策により、予定されていた大会、イベントがほとんど中止。
  - ・10/1 から 2/14 プール改修工事、11/1～12/28 大体育館音響工事による休館。

イ 収入 (自動販売機収入含む)

令和2年度収入額	16,159,975円
(令和元年度実績)	(30,161,414円)
増 減	$\Delta 14,001,439$ 円

【増減理由】

- ・利用者減と同様の理由により収入も大幅に減少。

②事業実施状況

ア 施設管理

- ・新型コロナウイルス感染予防対策として、職員のマスクの着用、水泳教室指導時のフェイスシールドの着用、窓口、事務所の机の間にビニールシートを設置した。
- ・3密を避けるため各施設、換気扇及び窓を開け換気を行った。  
さらに、窓口が混雑した時のため待機ラインを設置した。
- ・1日2回、午前と午後に自動販売機やドアノブ、体育設備等、職員によるアルコール消毒を実施した。

- ・新型コロナウイルス感染予防対策協賛店として登録した。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策として、USEN の声で広げる！ソーシャルディスタンスプロジェクトに協力し、音声による注意喚起を行った。
- ・施設休館及び改修工事期間中に側溝清掃や器具庫等の大掛かりな清掃等、普段できない作業を実施した。
- ・とっとり新型コロナ対策安心登録システムに協力した。
- ・新型コロナ対策認証事業所申請中。
- ・10月から1月まで布勢総合運動公園消毒作業を協力し実施。
- ・カード決済、電子マネー決済を導入し、積極的に広報するなど利用者の利便性向上に努めた。
- ・鳥取市内の散岐小学校へ出向き、教師及び生徒に水泳出前指導を行い泳力向上に貢献した。
- ・鳥取育英高等学校レスリング部コーチに職員を派遣。
- ・倉吉体育文化会館と連携し、プルタブを車いすにする運動にプルタブ61kg提供。

#### イ 教室およびイベント実施

##### (ア) スポーツ教室14教室

延べ実施回数 323回 (令和元年度399回)

延べ参加者 3,832人 (令和元年度4,081人)

##### (イ) 水泳教室9教室

延べ実施回数 126回 (令和元年度580回)

延べ参加者 646人 (令和元年度8,228人)

##### (ウ) イベント

実施回数 3回 (令和元年度10回)

延べ参加者 572人 (令和元年度1,058人)

#### ③課題および取組み

- ・施設の老朽化が進んでいる。大規模修繕は県と連携し修繕を検討し、小規模修繕については、職員で直せるものは職員で対応しているが追いつかない状況であり、日頃の巡視・点検を徹底し、大きな修繕にならないように努める。
- ・継続的にイベント、大会等を開催していただくため、準備段階から積極的に運営に協力していくなど利用満足度を高めるとともに、継続開催の声掛けに努めている。
- ・支出（特に燃料費と電気代）を抑えるよう職員全員が節減意識をこれまでよ

りさらに強く努力する。

- ・県や競技団体が企画する2021年東京オリンピック、パラリンピック関連行事を連携し、円滑に運営、対応できるよう協力する。
- ・利用者が安心・安全・快適に施設を利用していただくことが基本と考え、施設アンケート・教室アンケートを行う機会を増やし、利用者の声を聴き、迅速な対応ができる管理運営に努める。
- ・競技団体との連絡を密にし、広く県民の皆様にはトップアスリートのプレーを体感できる公式戦や教室を開催してもらえよう努める。
- ・教室、イベントの参加者を増加させるため、当館ホームページやメディアへの広報はもとより、新型コロナウイルス感染症が収束次第、学校や公共施設等へのチラシ配布を行う。
- ・職員の資質向上のため、各種研修会への参加や各種資格の取得を促進する。
- ・収入増を図るため、追加イベント、教室を計画し実施する。
- ・鳥取市民体育館が改修工事により利用できなくなるため、工事等で休館にならないよう県と連携し管理運営を行う。

④その他

- ・新型コロナウイルス感染症の終わりが見えない状況で、利用人数及び収入を通常の状態に戻すのは非常に難しいと考える。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を行うにあたり、アルコール消毒液やウエス等経費が掛かり、経営を圧迫している。

(3) 米子市皆生市民プール 64,338,879 円

①利用人数および収入増減理由

ア 利用人数

令和2年度施設利用者数	74,421人
(令和元年度実績)	(91,328人)
増 減	△16,907人

【増減理由】

- ・4月14日から5月17日まで緊急事態宣言で休館した。スポーツ教室の第1期(4月から7月)を感染防止の観点より中止とした。
- ・自粛を国や県を挙げて行った関係で、県外からの利用者減や通常の利用者も利用を控える兆候があった。
- ・一般利用及び専用利用プール△6,197人、トレーニングホール△2,447人、水

(3) 米子市皆生市民プール 69,546 千円 (68,939 千円)

令和2年度施設利用見込人数 87,000 人  
(令和元年度利用見込人数) (87,000 人)

令和2年度収入見込額 24,175 千円  
(令和元年度収入見込額) (23,755 千円)

泳教室△5,404人、スポーツ教室△2,301人と全てにおいて影響を受けた。

イ 収入（自動販売機収入含む）

令和2年度収入額 18,427,387円

（令和元年度実績） (19,240,579円)

増 減 △813,192円

#### 【増減理由】

- ・利用人数の減と同様の理由により減少。
- ・一般利用及び専用利用プール△883千円、トレーニングホール△40千円、水泳教室△3,040千円、スポーツ教室764千円であった。

#### ②事業実施状況

##### ア 施設管理

- ・新型コロナウイルス感染防止策を講じながら、施設の管理運営を行った。  
※新型コロナウイルス感染予防対策協賛店に登録
- ・施設内3密を防ぐための策（更衣室の開放、自動ドアの開放、プール内の窓の開放、密にならないための利用者への案内等）を実施して開館した。
- ・来館者には利用者及び送迎・見学も含め全員に簡易的に個人情報を提供していただくお願いをし、施錠できる場所に保管した（3か月）。
- ・6月10日（水）会見小学校、大山小学校、6月26日（金）加茂小学校の教職員に出前出張救急講習を実施した（65名）。
- ・感染防止策を講じながら、短期水泳教室（一般）、スポーツ教室（3B体操教室）を6月より実施。
- ・7月15日（水）共同体である（一財）鳥取県水泳連盟と合同救急救助講習を県立東山水泳場で実施し、夏休み前の救急体制の再確認を行った。
- ・NPO法人皆生ライフセービングクラブと連携し、米子市の小学校（住吉小7月14日、和田小7月16日、彦名小7月17日、加茂小7月20日、伯仙小7月21日）の希望された役450名に浮いて待て講習会に職員を派遣し講習を行った。
- ・7月29日（水）浮いて待て講習会を当プールで実施し、自分の身を守る方法などを学んでもらった。
- ・8月23日・30日・9月6日に中止となった第40回全日本トライアスロン皆生大会の代替試合が皆生プレイパークを主会場として実施。プール北側トイレを開放し、大会運営に協力した。
- ・皆生レクリエーションカヌー協会のイベント（日本財団、智頭中、鳥取中

央育英高等学校及び鳥取東高等学校) に対し、更衣室等を貸し出し、参加者の利便に協力した。

- ・第 14 回 Challenged アクアスロン大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、プール競技は中止となり、ランだけの大会となったが、トレーニングホール及び駐車場を使用可とし、大会を円滑に実施できる体制を整えた。
- ・冬場の時期（12 月～3 月）は室温、水温共に休館日に低下するため、職員を出勤させ、ボイラ運転を行い、利用者の利便に努めた。
- ・館長杯ジュニアバドミントン大会を実施（3 月 27 日）。22 人の小学生が白熱した試合を行った。

#### イ 教室およびイベント実施

##### (ア) 水泳教室 23 教室

延べ実施回数 539 回（令和元年度 866 回）

延べ参加者 7,132 人（令和元年度 12,536 人）

##### (イ) スポーツ教室 7 教室（トレーニングホール）

延べ実施回数 279 回（令和元年度 414 回）

延べ参加者 2,050 人（令和元年度 4,302 人）

##### (ウ) イベント

実施回数 9 回（令和元年度 30 回）

延べ参加者 537 人（令和元年度 650 人）

#### ③課題および取組み

- ・新型コロナウイルス感染防止の対策を講じながら、施設運営に臨んできた。今後も継続しながら、さらなる感染拡大が起こらないよう職員一同消毒、換気等に気を配り、利用できる体制を整えていく。
- ・オープン 40 年を経過する管理棟及びトレーニングホールの巡回・点検等を実施し、大きな修繕に繋がらないように努力していく。
- ・米子市のスポーツ振興、健康増進に照らした事業展開と安全安心な施設の提供ができるよう、利用者の声に耳を傾け、社会情勢やニーズの変化を積極的に探り柔軟な発想で施設運営に反映していく。
- ・利用者増に繋がるイベント等を感染拡大防止策を講じながら、実施できるようにする

(4) 米子産業体育館 64,230千円 (63,010千円)

令和2年度施設利用見込人数 141,000人  
(令和元年度利用見込人数) (140,000人)

令和2年度収入見込額 31,300千円  
(令和元年度収入見込額) (30,900千円)

(4) 米子産業体育館 50,749,619円

①利用人数および収入増減理由

ア 利用人数

令和2年度施設利用者数 74,731人  
(令和元年度実績) (97,666人)  
増 減  $\Delta 22,935$ 人

【増減理由】

- ・緊急事態宣言による県からの指示により4月13日から5月15日まで全館休館となった。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策で、主な大会、展示会等のイベントが中止となり、年間を通して例年と比較し利用者数が減少した。
- ・スポーツ教室は5月末まで休止。以降短期教室は例年通り5期開催したが、年間子ども教室は6月から再開するものの、前年比30%減となった。
- ・フィットネスルームは昨年度から引き続き5月末まで休止、6月から再開したが、利用時間帯設定、時間制限により前年比64%減となった。

イ 収入(自動販売機収入含む)

令和2年度収入額 15,844,616円  
(令和元年度実績) (26,851,587円)  
増 減  $\Delta 11,006,971$ 円

【増減理由】

- ・緊急事態宣言による県からの指示により4月13日から5月15日まで全館休館となった。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策で、主な大会、展示会等のイベントが中止となり、年間を通して例年と比較し収入が減少した。
- ・スポーツ教室は5月末まで休止。以降短期教室は例年通り5期開催したが、年間子ども教室は6月から再開するものの、昨年度比較34%減となった。
- ・フィットネスルームは昨年度から引き続き5月末まで休止、6月から再開したが、利用時間帯設定、時間制限により前年比66%減となった。

②事業実施状況

ア 施設管理

- ・管理上や大会等開催のために必要がある場合は、開館時間を早め柔軟に対



応した。

- ・利用料支払いの簡素化や衛生面を考慮し、クレジットカード、電子マネーによるキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性の向上を図った。
- ・申込手続きの効率化を図るため、鳥取県予約システムの稼働やホームページからの申請書ダウンロード対応を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用後の消毒や換気、掲示やデジタルサイネージを使った注意喚起など、感染防止対策に努めた。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策協賛店に登録した。
- ・熱中症対策として引続き WBGT 数値の表示や利用者への水分補給の声掛け等を実施。このことが評価され4年連続で「ひと涼みアワード 2020 スポーツ部門優良賞」を受賞した。
- ・差別落書きの対応、未然防止のため環境美化や巡回を徹底した。(令和2年度の差別落書き実績なし。)
- ・当館の活動周知を図り、施設利用者や各教室の参加者を増やすため、ホームページの更新、フェイスブック・インスタグラムの活用、米子市内小学校へのチラシ配布など情報発信に努めた。
- ・パンフレットにホームページ、フェイスブックのQRコードを刷り込むなどし、利用者へのアクセスの簡素化、情報発信の多角化を図った。
- ・外部評価委員会や利用者アンケートを実施。利用者等の幅広いご意見をいただき施設運営改善に役立てた。
- ・職員による昼礼や苦情整理簿の整備などを新たに実施することで、より職員間の連携を密にし、情報の共有に努めた。
- ・より質の高いサービスを提供するため、各種研修への参加や資格取得を行い職員の資質向上に努めた。

## イ 教室およびイベント実施

### (ア) 年間スポーツ教室

実施回数 466回 (令和元年度 628回)

延べ参加者 3,557人 (令和元年度 5,122人)

### (イ) 短期スポーツ教室

実施回数 153回 (令和元年度 160回)

延べ参加者 1,400人 (令和元年度 1,307人)

### (ウ) イベント

実施回数 0回 (令和元年度 0回)

延べ参加者 0人 (令和元年度 0人)

※令和元年度は体育館工事により中止。令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防により中止。(新体操教室において、教室中に保護者限定での演技会1回開催)

③課題および取組み

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、大会、催事等についてキャンセルが相次いだ。今後についてもこの状況が改善傾向にあるとは言えないところではあるが、展示会・イベントを中止した団体について、これを機に催事取りやめとならないよう、引き続き予約の確認等継続利用を働きかける。また、新たな催事開催についても、引き続き誘致を行う。
- ・新体育館建設に向けて、県の方針により営繕関係の要望が事故、災害につながる緊急性のあるものを除いて、今後ストップする状況にある。これにより利用者への利便性向上の対応が低下していく不安があるが、施設側でできるものについては最大限配慮していきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のための消毒用で、アルコール消毒液の購入費がかかり、経費負担増となっている。

④その他

- ・社会貢献活動の実施。
  - ①SANKO 夢みなとタワー『ニュースポーツを体験しよう』に指導員として職員を派遣し体験指導を行った。
  - ②国体 高校総体等の大会等に役員として職員の派遣を行った。

(5) 鳥取県立武道館 75,971,199 円

①利用人数および収入増減理由

ア 利用人数

令和2年度施設利用者数	58,348人
(令和元年度実績)	106,265人
増 減	△47,917人

【増減理由】

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の影響により、国体ブロック大会

(5) 鳥取県立武道館 80,172 千円 (78,419 千円)

令和2年度施設利用見込人数	108,000人
(令和元年度利用申込人数)	(117,000人)
令和2年度収入見込額	12,910千円
(令和元年度収入見込額)	(12,850千円)

(柔道・剣道・弓道・空手道・なぎなた・銃剣道)、中国中学校剣道大会、全山陰真木杯境港剣道大会、中国高校空手道選手権大会等、大規模的な大会がほとんどすべて中止になったほか、4月13日から5月15日まで臨時休館したしたことにより、利用人数が大幅に減少した。(昨年比54%)

イ 収入(自動販売機収入含む) .

令和2年度収入額 9,017,578円

(令和元年度実績) (13,902,426円)

増 減 △ 4,884,848円

#### 【増減理由】

- ・年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響を受けて利用者が減少したため、収入も大きく減少した。(昨年比64.8%)
- また、密になるのを避けるため、各道場、会議室及び研修室等の定員を約2分の1に削減したことも収入減少の一因である。

#### ②事業実施状況

##### ア 施設管理

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下の内容を実施した。①館内入口(3ヶ所)に消毒液及び自動検温器の設置(ほか非接触型体温計3個)②入館時のマスク着用と検温の徹底③道場、会議室・研修室等の利用人数制限④館内ベンチの座席制限⑤換気のための道場入口ドア開放⑥利用後のドアノブ、机・椅子等の消毒⑦受付窓口及び事務室内に透明仕切の設置、受付で並ぶ際の立ち位置表示、受付でのトレーによる金銭授受⑧県境を越えての利用自粛(現在は解除)⑨感染予防対策協賛店登録
- ・新たな感染予防対策として次の内容を追加した。①利用後のスリッパの消毒(随時)②毎朝、小道場(1)の畳の消毒③新たに体温計を3台購入し、出入口3か所に各2台設置して検温の徹底
- ・とっとり施設予約サービスのシステムにより、6月からインターネット予約が可能になり、利用者への利便性が向上した。
- ・カード決済、電子マネー決済を導入し、積極的に広報するなど利用者の利便性向上に努めた。
- ・利用申込書を、前日までに電子メールかファクシミリで提出するようお願いしている。利用日前日までに提出されない場合は、利用団体に連絡を入れて確認しており、キャンセルが減少した。

- ・教室の利用者に連絡が早く確実に伝わるよう、LINE を利用した連絡網を整備した。(令和3年3月から一時停止中)
- ・12月に鳥取県が推進するとっとり子育て隊の認定を受けた。おむつ交換等のためトイレや授乳室などを無料で利用できるサービス等を利用者に周知した。
- ・月1回クリーン日(職員による一斉清掃日)を設定し、植栽管理や清掃を集中的に行うことにより、作業の安全と効率化を図った。
- ・武道館の各部屋の場所がわかりづらいとの要望に応え案内表示を増やした。
- ・防寒対策として、12月に弓道場(近的射場・遠的射場)にビニール武者窓を設置した。
- ・各競技団体等の依頼により、外部指導者、審判員等で職員を派遣した。

#### イ 教室およびイベント実施

##### (ア) 武道、スポーツ教室13教室

延べ実施回数 1,164回 (令和元年度 1,144回)

延べ参加者 7,413人 (令和元年度 7,725人)

※スポーツ教室は、休館中(4月13日～5月15日)は実施しなかったが、再開後に未実施分を補い当初計画した回数をすべて実施した。

##### (イ) イベント

実施回数 7回 (令和元年度 11回)

延べ参加者 910人 (令和元年度 3,181人)

※ローソンカップ武道大会(柔道・剣道・弓道)は予定どおり実施することができた。観客数の制限やマスク着用、検温、消毒等の徹底をして、特に弓道は各会場に分散して競技を行う通信大会とした。

#### ③課題および取組み

- ・武道館の活動の周知を図り、施設利用者や各教室の参加者を増やすため、当館ホームページやメディアへの広報はもとより、学校や公共施設等へのチラシ配布を行う。
- ・ホームページでの情報発信により、県内外からの大会・合宿誘致を行い、リピーターをより多く確保できるよう努める。
- ・平日昼間の利用者を増やすことが課題である。シニア世代、在宅育児者(母子)、学校、障がい者等への積極的な利用を呼びかける。また、これまでは行ってこなかったニュースポーツ等の実施を検討する。
- ・武道館は、あいサポート企業・団体に認定されており、障がいのある方をは

- じめ、多くの方に安心してご利用いただけるように施設の充実に取り組む。  
特に、障がい者スポーツの実施を関係者に働きかける。
- ・障がい者が利用しやすい施設運営をめざすとともに、武道以外のスポーツが行える場所の提供（多目的室の設置）を検討する。
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響で今年度行えなかった武道合同体験会を、コロナ対策を徹底し、事業の内容も再検討して実施する。
  - ・開館以来20年が経過し、設備・建物のような修繕箇所が増加している。予防保全のためにも、職員でできるところは修繕していく。
  - ・ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催が2022年5月に延期となった。今後も県、米子市や競技団体と連携して取り組む。
  - ・道場及び会議室等にインターネット環境の整備 Wi-Fi の利用を検討する。
  - ・環境整備が必要な個所を明確にし、環境美化に努める。
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響で収入が激減しており、光熱水費等の支出削減に努める。
  - ・職員の資質向上のための研修等への参加、資格の取得を推進する。

④その他

- ・7月下旬に開催を予定していた鳥取県立武道館開館20周年記念西日本弓道大会は、中止とした。

事業計画	実施状況
<p>&lt;収益1&gt;施設関連事業 201,791千円(79,155千円)</p> <p>1 体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。</p> <p>(1) 倉吉体育文化会館 77,113千円(70,317千円)</p> <p>令和2年度施設利用見込人数 162,755人 (令和元年度利用見込人数) (172,000人)</p> <p>令和2年度収入見込額 19,053千円 (令和元年度収入見込額) (20,137千円)</p>	<p>&lt;収益1&gt;196,259,528円(85,051,653円)</p> <p>(1) 倉吉体育文化会館 67,783,723円</p> <p>①利用人数および収入増減理由</p> <p>ア 利用人数</p> <p>令和2年度施設利用者数 56,262人 (令和元年度実績) (143,364人)</p> <p>増減 △87,102</p> <p>【増減理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、5月は会館・体育館ともにコロナウイルス感染症対応で閉館したため利用人数が減少した。</li> <li>・6月に若干復調したものの、収容人数の半数を利用制限したため7月、8月で利用人数が減少した。</li> <li>・10月から3月まで特定天井等工事のため体育館を閉鎖したことに加え、県内のコロナウイルス感染動向に左右され12月～2月にキャンセルが発生し利用人数が減少した。</li> </ul> <p>イ 収入</p> <p>令和2年度収入額 12,129,683円 (令和元年度実績) (21,192,671円)</p> <p>増減 △9,062,988円</p> <p>【増減理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会館の利用が前年並みにあった10月、11月を除き、利用者数と同様の理由で年間を通じ収入が減少した。</li> </ul> <p>②事業実施状況</p> <p>ア 施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染予防対策として、体育館、会館入口にアルコール消毒液や非接触温度測定器を設置した。また、利用後すべての部屋をアルコー</li> </ul>

- ル消毒するなど感染予防対策を行った。
- ・施設内外の除草作業を定期的に行い、周辺環境の美化に努めた。
- ・認知症予防体操や楽しく体をほぐす運動を中心とした外部指導を行った。
- ・Jアラート全国一斉放送に伴い、非常時の際安全な対応ができるようシェイクアウト訓練を実施した。
- ・施設内遊歩道に来館者の癒しとなるようにプランターの花などを設置した。
- ・カード決済、電子マネー決済を導入し、積極的に広報するなど利用者の利便性向上に努めた。
- ・スポーツクライミングジャパンツアーの様子を youtube で配信し、スポーツクライミングの普及振興に努めた。
- ・インスタグラム等 SNS や HP を活用した積極的な広報を行った。
- ・ボランティア団体（ワーカーズコープ）による清掃活動を受け入れた。
- ・小学生の町探検活動を受け入れた。
- ・事故発生時に迅速な対応ができるように救命講習を実施した。

#### イ 教室およびイベント実施

##### (ア) スポーツ教室

延べ実施回数 210回 (令和元年度 462回)

延べ参加者 1,420人 (令和元年度 4,376人)

##### (イ) 文化教室

延べ実施回数 120回 (令和元年度 171回)

延べ参加者 953人 (令和元年度 1,869人)

##### (ウ) イベント

実施回数 8回 (令和元年度 22回)

延べ参加者 396人 (令和元年度 1,012人)

- ・例年開催していたスポーツと文化の祭り「体文祭」を youtube 上で開催し、好評を得た。
- ・夏休み文化教室では中学校教諭を講師として「おもしろ実験教室」を開催し、好評を得た。
- ・当館主催の「倉体ボルダリングコンペティション 2020」を開催した。
- ・日本山岳・スポーツクライミング協会スピードタレント発掘事業に協力した。

- ・宇佐美里香特任体育指導員により「空手道無料体験会」を実施した。
- ・コロナウィルス感染予防を徹底したうえで、DVD プログラムを作成しスポーツ教室を実施した。

③課題および取組み

- ・施設の老朽化により破損等による修繕が増加している。予防保全による修繕や点検を引き続き行い、安全な施設運営を行っていく。
- ・ボルダリングルームの課題（コース）を増やしてほしいという要望を受け、公認ルートセッターによる追加課題の配置を行った。
- ・利用についての問い合わせにより、会館棟の WEB 会議に対応できる環境整備について検討していく。

(2) 倉吉自転車競技場の管理運営 124,678 千円 (8,838 千円)

- ・倉吉自転車競技場管理運営 7,193 千円 (7,181 千円)  
職員 2 名を配置し管理運営を行う。

- ・倉吉自転車競技場改修等工事 117,485 千円 (1,657 千円)  
既存トラックの補修を行う。 80,850 千円  
新たに倉庫棟の新設を行う。 19,866 千円  
スタート設置・判定カメラの購入を行う。 16,425 千円  
事務費 344 千円

(2) 倉吉自転車競技場の管理運営 128,475,805 円

① 管理体制 6,980,941 円

- ・平成 29 年度より本会にて、直接管理。  
場長 1 名 (倉吉体育文化会館館長が兼務)  
職員 2 名
- ・サイクリングフェスティバルの開催  
秋のサイクルフェスタ  
期 日 令和 2 年 1 月 22 日 (日)  
会 場 倉吉自転車競技場  
参加者 選手・保護者 150 名以上、役員等 25 名 合計 175 名以上

② 倉吉自転車競技場改修等工事 121,494,864 円

- ・既存トラックの補修 85,600,100 円  
工 期 令和 2 年 5 月 12 日 (火) ~ 令和 2 年 12 月 10 日 (木)  
完 成 令和 2 年 1 月 2 日 (月)
- ・倉庫棟改築工事 19,250,000 円  
工 期 令和 2 年 5 月 8 日 (金) ~ 令和 2 年 9 月 4 日 (金)  
完 成 令和 2 年 9 月 1 日 (火)
- ・倉吉自転車競技場判定カメラ一式の購入 16,420,000 円  
納入日 令和 2 年 1 月 11 日 (水)
- ・事務費 224,764 円  
工事の契約等及び検査に係る諸経費の支払い。



<収益2>自動販売機設置事業 4,506千円(7,405千円)

本会が管理する公の施設に、利用者の利便性の向上を図るため自動販売機を設置し、自動販売機手数料による収益事業を実施する。

(単位：千円)

	布勢総合運動公園	鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	皆生市民プール	米子産業体育館	武道館	合計
収入	9,200 (10,150)	2,606 (2,606)	1,300 (1,300)	2,050 (2,000)	2,750 (3,100)	17,906 (19,156)
支出	3,233 (3,874)	260 (982)	588 (588)	150 (670)	275 (1,291)	4,506 (7,405)
収益	5,967 (6,276)	2,346 (1,624)	712 (712)	1,900 (1,330)	2,475 (1,809)	13,400 (11,751)

( )内は前年度数字

<収益2> 3,763,308円(4,313,149円)

自動販売機設置状況

(単位：円)

	布勢総合運動公園	鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	皆生市民プール	米子産業体育館	武道館	合計
収入	5,796,897 (9,047,443)	1,054,851 (2,278,826)	871,847 (1,046,849)	890,436 (1,453,987)	2,177,762 (2,779,354)	10,791,793 (16,606,459)
支出	2,863,714 (3,086,017)	95,870 (184,131)	524,830 (569,932)	80,929 (156,421)	197,965 (316,648)	3,763,308 (4,313,149)
収益	2,933,183 (5,961,426)	958,981 (2,094,695)	347,017 (476,917)	809,507 (1,297,566)	1,979,797 (2,462,706)	6,959,016 (12,293,310)

( )内は前年度数字